

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード



今回の決算相場は狙い目十分！

相場の「足枷」ともなっていた欧州債務問題、米国景気減速懸念など外部要因が進展、日経平均株価は5日移動平均線と25日移動平均線がゴールデンクロスを形成するなど、相場の底打ち確認に向けて投資家心理も上向いてきた。

前回コラムでは「業績修正発表をチャンスに変えろ！」として、企業が業績修正を発表してくるタイミングを見据えて短期急騰局面を捉えるスタンスを推していたが、業績修正によって基調変化が見込まれるポジティブサプライズ候補をまとめた「厳選銘柄付き緊急市況レポート」にて注目銘柄・フェローテック(6890)が相場復調に乗って人気化。会員情報の日本M&Aセンター(2127)、東洋炭素(5310)なども増額人気の捕捉に成功している。

いよいよ来週からは年度上半期となる9月中旬期決算がスタート。必然的に個別視点で決算先回りを狙う局面となる。前回にも記したように、円高による減額・計画未達なども予想されるが、大幅調整による値頃妙味から、決算がアク抜けの好機ともなり得る。さらに地合い好転で思いの外狙いやすいのではないか。

弊社では、今回の決算相場における投資戦略をまとめた「厳選銘柄付き緊急市況レポート」を発売する。過去の実績も申し分ない自信のテーマだ。厳選銘柄やレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせしてほしい。